

# お 泉 水

2000年3月30日

## ■平成11年度全国図書館大会

平成11年度（第85回）全国図書館大会は、平成11年10月27日から30日までの3日間、大津市びわ湖ホールを中心会場に「図書館ルネサンス・滋賀」というテーマで開催された。

第1日目は、開会式に続いて全体会、基調報告、記念講演が行われた。第2日目は、14の分科会に分かれ、テーマ別に事例報告、研究討議が為され、第3日目には、全体会、閉会式が行われた。

私の参加した第2分科会では「図書館振興の課題と展望」というテーマで、県立図書館が町村図書館振興に果たす役割について話し合われた。滋賀県内の図書館から報告があった後討議に移り、図書館振興策を打ち出している大分県立・滋賀県立図書館の参加者が会場から発言した。県全体のレベルアップをはかる目的で、県からの支援を受ける際の基準が大分・滋賀とも設けられている。県は、基準を甘くして、サービスの遅れた図書館の依存に全面的に応えるだけではなく、将来図書館として自立できるよう、長期的な視野での支援策を打ち出さなければならず、町村もそれに応え、自力で図書館を作っていくかねばならないのだということが、強調されていた。

（若狭図書館学習センター 山田 陽子）

## ■平成11年度全国公共図書館研究集会

### ◇整理部門

「21世紀に向けて…考える」というテーマの研修会参加は、昨年4月に初めて図書館業務について私にとって、とても重いものでした。しかし行く前に「図書館とは、ただ単なる貸し小屋ではない」と言った諸先輩の言葉を肝に銘じ出席しました。

図書館の使命の一つに資料を収集し、整理し、利用者へ供するということがありますが、いくら資料が集まっても、それにアクセスする手立てがないのでは話にならないと思います。加えて最近では図書館は情報の発信基地であるという考えが強くなってきています。そうした中で、利用者の求める目録機能を全国一律にし、資料の情報を充実することが大事であるが、またその一方ではそれぞれの館独自の目録があると、なお一層便利という話もありました。

この大会に参加し、私たち職員は利用者が何を求めているかを知り、それを速やかに提供できるようにならなければならない、そのためには職員一人ひとりが知識を深め、情報を整理し、効率よい検索システムを構築していかなければならないと強く感じました。

（三国町立図書館 小玉 順子）

### ◇奉仕部門

10月14・15日の2日間、今治市において、「社会の変化に対応した図書館サービスを考える」をテーマに、全国公共図書館奉仕部門研究集会が開催された。参加者は348名で、本県からは3名が参加した。

第1日目は、愛媛大学の讃岐幸治氏による基調講演「生涯学習社会における図書館」があり、続けてユニークなサービス活動を行っている4館の事例発表が行われた。第2日目は、質疑・研究協議と情勢報告が行われ、特に図書館のボランティア化とインターネット使用による検索の有料化、あるいはその制限について関心が集中した。しかし、現段階では日本図書館協会が状況把握にとどまっている為、今後の大きな課題として残された。

国際化、情報化、高齢化等変化の著しい社会で、利用者の求めるサービスもまた多様化してきていることを実感したが、各図書館で全ての面でのサービス向上を図るには限界がある。今後、図書館間の連携、協力をさらに発展させ、その中でも、重要な優先されるべき利用者サービス、早急の必要に迫られているサービス、そして自館が取り組めるサービスとは何かを考えさせられる研修となった。

（福井市立みどり図書館 後藤 典子）

### ◇移動図書館協力事業分科会

平成11年10月7・8日の両日、「移動図書館・図書館搬送システムと資源共有化」を研究テーマに、平成11年度第22回全国移動図書館・協力事業研究集会関東地区公共図書館協議会奉仕部門研究集会が、横浜市教育会館ホールをメイン会場として開催された。参加者は約290名で、本県からは2名が参加した。

初日は、まず、名古屋女子大学事務部長雨森弘行氏による基調講演が行われ、「ネットワークの形成とサービスの充実」という演目で、高度情報化社会での図書館の在り方や方向性、課題などについての意見がなされた。続いて、「移動図書館」「協力車・搬送システム」「資源の共有化」をテーマとした3つの分科会にわかれ、各々3館の事例発表と研究協議が行われた。翌日は、各分科会助言者による報告と、研究協議が行われ、活発な質疑応答の後、閉幕となった。

私の参加した「移動図書館」の分科会では、コンピューターの普及などによる現代の著しい情報形態の変化の中で、移動図書館として環境に適した方向を模索していくことの難しさ、そして、情報収集・統計などを生かし、常に利用者の立場を考慮した状態であり続けるよう心掛けていく必要性を強く感じた。

（永平寺町立図書館 森下 瑞恵）

# 新設図書館紹介

## 賑い愛される図書館に

### 織田町立図書館



織田町の中心地に、1760余年の古き歴史を誇る劔神社が鎮座する。この劔神社の鎮守の森を抜けると神社本殿を模した大きな建物が見える。これが「織田町文化歴史館」である。この館は「歴史、文化、ゆとりの街並み整備事業」の一環として、平成10年11月に完成。旧織田小学校跡地及び周辺地域において、恵まれた歴史的文化遺産を生かした文化の薫り高い町づくりを推し進め、町民にとって快適なゆとりのある空間が享受できるとともに、地域全体としての質の高い住環境の創設による文化の嵩上げを図ることを目的として建てられた。

この「文化歴史館」は、①資料展示、収蔵部門としての織田町歴史資料館、②図書部門としての織田町立図書館、③映像を備えた文化交流ホールの3つの機能を合わせ持つ複合施設である。織田町立図書館は、歴史資料館に先駆けて、文化交流ホールと共に平成11年7月22日、夏休みに合わせて開館。今までは、公民館の一室で、薄暗く倉庫のような名ばかりの図書館(寂しかった)。県内各市町村に次々建設されていく新図書館(羨ましかった)。私達の町にも是非にと熱望していた待望の図書館がようやく稼動した。

鉄骨造り平屋建て床面積450㎡、収蔵能力30,000冊。一般閲覧室、新聞・雑誌コーナー、参考図書・郷土資料・AV・児童・大型本の各コーナー、広い貸出しカウンター、レファレンスコーナーが設置されている。高い天井、自然の採光と緑豊かな景色展望のための三方ガラス張り、木製の4段低書架、学習机やテーブル、淡いグリーンソファや椅子、児童コーナーの畳スペース等、利用

者が心安らいで過ごせるように配慮されている。

現在の蔵書資料は一般図書14,000冊、児童図書(紙芝居含む)3,000冊、郷土資料2,500冊、新聞6紙、雑誌18タイトル、ビデオ450本。ビデオ以外はほとんどの資料を貸出している。郷土資料の中でも特に重点をおいているのが、織田町ゆかりの図書で、織田信長に関するもの、太鼓芸能文化に関するもの、焼き物に関するもの等だが、まだまだ資料が少なく、今後一層の収集努力が必要とされる。

開館時間は午前10時から午後6時まで。木曜日は午後8時まで延長。夏休み期間中も時間延長とあくまで利用者の便利を最優先している。

図書館へ来られる人はまた、文化交流ホールも利用出来る。ここには、ハイビジョン対応マルチスクリーン135インチの音響、映像設備が設けられ、常時開放されており、各放送局のTV番組のほか、CD、LDなども大画面で楽しむことが出来る。またラウンジでは、ソファに坐り喫煙・談笑したり、おやつなどの軽い飲食もでき、ここでゆっくりくつろげる。

時にはこのホールで、講演会・講座・おはなしひろば・コンサートなども行われているが、より活発な活動や催しで一人でも多くの町民に足を運んでもらう為には企画に賛同し、参加してくれるボランティアの協力が欠かせない。ボランティアの方々と手を携えて図書館を育てていきたい。

「夢と誇りを持って創造する共生と賑いのまちづくり」の町の方針どおり、図書館にあっても「夢、創造、賑い」をキーワードとして、町民の生活の一部として欠かせない存在、「愛される図書館に」と心から願っている。

- 今後解決していかなければならない課題として
- ・遠隔地域住民・中高生・高齢者へのサービス
  - ・ボランティアの確保、育成
  - ・経験の浅い職員の研修
  - ・県立図書館をはじめ、近隣図書館との緊密な連帯
  - ・町民のニーズに沿った資料収集、
- などが挙げられる。

(織田町立図書館 奥田喜代美)

# 新設分館紹介

## 高浜町和田分館開設

高浜町中央図書館



平成11年4月1日に、その名の示す通り町の中央にあった中央図書館に加えて、和田公民館内に和田分館を開館しました。

当町の今後の方針として、各地区公民館に図書館を設

置し、より町民が利用しやすい体制を整えようと考えました。その端緒として開館した和田分館は、当町東部地区図書館の役割を果たすことを目的としております。

図書数は現在約4,000冊となっており、利用状況を見ながら、随時入れ替えを考えています。図書構成は中央図書館が町の中心にあるため、これまで本館に気軽に来ることができなかった子どもたちのことを考慮し、児童書が全体の4割を占めています。

現在は、貸出返却作業をハンディ・ターミナルで行っているため、和田分館で図書の検索などはできませんが、設備については他の地域の公民館整備に伴い検討を加えていく予定です。

今後はそれぞれが地域に密着した図書館を目指すとともに、よりたくさん子どもたちが気軽に本に触れてもらえる場を提供できるよう努力していきたいと考えております。

(高浜町中央図書館 盛次 晃則)

## 図書館法改正について

昭和25年に図書館法が制定されてから、今年で50年になる。その図書館法の改正を含む「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律案」(地方分権推進一括法案)が、平成11年7月8日、参議院本会議で賛成多数により可決成立された。改正の概要は以下の3点。

- ①国庫補助を受ける場合の図書館長の司書資格要件の規定の削除(法第13条第3項の削除)
- ②図書館協議会の委員構成の大綱化等(法第15条の改正、第16条第2項の削除)
- ③国庫補助を受ける場合の図書館の最低基準に関する規定の削除(法第19条および第21条の削除)

施行は平成12年4月1日であるが、今一度それぞれの図書館において、図書館長の司書資格の是非等について考えてみるべきであろう。

### 改正図書館法

(職員)	
第13条(略)	
2(略)	(削除)
(図書館協議会)	
第15条 図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。	
第16条 図書館協議会の設置、その委員の定数、任期その他必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。	(削除)
第19条 削除	
第21条及び第22条 削除	
附則	
11 この法律施行の際、現に市町村の設置する図書館に勤務する職員で地方自治法(昭和22年法律第67号)施行の際官吏であったものは、別に辞令を発せられない限り、当該図書館を設置する市町村の職員に任命されたものとする。	

# 平成11年度県外研修参加者名簿

研 修 名	図 書 館 名	氏 名
学術雑誌総合目録と文編2000年版データ作成説明会	福井県立大学情報センター	*
	福井工業高等専門学校図書館	荒井 進
学術情報センター目録システム(図書コース)地域講習会	福井県立大学情報センター	*
	仁愛女子短期大学附属図書館	笛吹 真弓
公立大学協会図書館協議会研修会	福井県立大学情報センター	*
平成11年度新CAT/ILLシステム説明会	福井県立大学情報センター	*
	福井工業高等専門学校図書館	三上 恵子
高等専門学校及び技術科学大学図書館情報シンポジウム	福井工業高等専門学校図書館	荒井 進
大学図書館職員研修会	福井工業高等専門学校図書館	三上 恵子
高専一豊橋技科大図書業務検討会	福井工業高等専門学校図書館	荒井 進
平成11年度NACSIS-IR(新IR対応)地域講習会	仁愛女子短期大学附属図書館	森川 輝美
	敦賀短期大学図書館	中野 雅子
	県立図書館	渡辺 力
	〃	田中 智美
私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会平成11年度総大会	仁愛女子短期大学附属図書館	清水 孝子
私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会平成11年度研修会	仁愛女子短期大学附属図書館	清水 孝子
私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会北陸部会平成11年度定例会議・研修会	仁愛女子短期大学附属図書館	朝倉 顕修
学術情報センター第2回目録システム講習会(雑誌コース)	仁愛女子短期大学附属図書館	森川 輝美
学術情報センター第3回ILLシステム講習会	仁愛女子短期大学附属図書館	森川 輝美
平成11年度図書館等職員著作権実務講習会	福井医科大学附属図書館	伊藤 茂夫
	大野市図書館	山村 和美
	県立図書館	前田眞佐子
	福井医科大学附属図書館	安野 辰巳
第12回国立大学図書館協議会シンポジウム(西地区)	福井医科大学附属図書館	梶川 仁美
平成11年度北信越地区国立大学図書館研修会	福井工業高等専門学校図書館	三上 恵子
平成11年度全国図書館大会	鯖江市図書館	中川 朋世
	〃	小島 典子
	丸岡町民図書館	武曾 素行
	大飯町立図書館	吉田 貴子
	若狭図書学習センター	山田 陽子
	県立図書館	牧田真理恵
	〃	田中 智美
	〃	三屋 香織
	〃	吉川 千鶴
	福井市立図書館	中村 宗玄
	三国町立図書館	小玉 順子
	丸岡町民図書館	坂本 房枝
春江町立図書館	内田妃佐恵	
若狭図書学習センター	野田紀代美	
県立図書館	吉川 千鶴	
平成11年度全国公共図書館奉仕部門研究集会	福井市立みどり図書館	後藤 典子
	三国町立図書館	井筒理栄子
	今立町立図書館	為沢さち子
平成11年度全国移動図書館・協力事業研究集会	若狭図書学習センター	宮川 雄史
	若狭図書学習センター	坪田 直純
	県立図書館	島貴 俊秀
第1回図書館総合展	〃	佐々木未来
	大野市図書館	乾 孝子
第19回児童図書館員養成講座	県立図書館	保田 弘子
	県立図書館	牧田真理恵
図書館司書専門講座	県立図書館	長野 栄俊
国際ラウンドテーブル会議	県立図書館	長野 栄俊
平成11年度漢籍担当職員講習会(漢籍電算処理)	県立図書館	島貴 俊秀
平成11年度学術情報センターシンポジウム	県立図書館	島貴 俊秀
国立国会図書館第10回資料保存シンポジウム	県立図書館	広場 誠
	〃	菅井 清美
	県立図書館	三屋 香織
平成11年度日本図書館協会地方講習会	県立図書館	田中 智美
障害者サービス研修会	〃	井藤 久美
総合目録ネットワーク参加館フォーラム	県立図書館	河合 幸子
	〃	川崎 健治

\*印は館名のみ

「ザ・ブックトーク」の魅力  
講義7「ブックトークの意義と実際」

今回、私は、より新しい図書館活動の動向を感じ取りたいという目的で、この研修に参加しました。

参加してまず驚いたことは講師がどのお方も、それぞれの分野で顕著な活躍をされている先生ばかりだったことでした。その中の「講義7」では、「ブックトークの意義と実践」を谷出千代子教授から学びました。

「トーク1」から「トーク3」までの約2時間は、谷出教授の不思議な魅力に私達は最初から最後までくぎ付けになっていました。

「トーク1」のテーマは「大きな大きな…」で小学1年生対象でした。大人の私達でも、まるで手品でも見ているようなわくわくした楽しい気分になっていました。「大きな」にもこんな展開があるのかとうっとりしていると終わりの7冊目の「おおくなるっていうことは」の本については、何も言われませんでした。そのことによって今までの絵本の余韻と空想の世界が私の心の中でさらに広がっていました。

教授の演出法は見事でした。しかも、すべてを熟読玩味し、作品の分析をされていますので、私達がその本に興味をもち、その世界に入ってしまうのは自然なことでした。

かろやかで魅力的なお声のブックトークがいつまでも印象的なのは、教授が本の中身を熟知されているからだと思います。

(三国高等学校 船谷美那子)

学校図書館を支える地域の図書館  
講義4「図書館の地域協力について」

私にとって今回の公共図書館司書等専門研修は初めての受講である。池田町立図書館は開館4年という比較的若い図書館である。人口約4,000人、高齢化率では県下No.1の中山間地域である。県立高校の分校1校、中学校1校、小学校3校(うち1校は分校)、幼稚園1園、保育所は新年度より統合…という教育環境にある。

図書館の開館時間が平日17時までという状況では、子どもたちの利用が制限されてしまうことから、小学校に関しては毎週2校、隔週で1校というペースで「図書館が本を届ける」という移動図書館を開館以来、実施している。これが結構、子どもたちを図書館へ誘うパイプになっている。調べ学習に関しても年々、利用度が増しており、町立図書館に対する要望等も多種多様になり、うれしい悲鳴をあげることもある。そして学校図書館の充実を願う声も聞こえてくることもある。しかし、各学校12学級以下という現状では学校図書館法改正にあたって司書教諭の配置の条件にあてはまらない。そこで、これまで以上に町立図書館として学校を支援するためには図書館の横のつながりを強化し、他機関からの情報の取

集等に努力しなければならないことを本講義によって再確認することができた。

(池田町立図書館 飯田眞佐子)

桂先生のお話をお聞きして  
講義6「理想の児童図書館を考える」

講師の桂先生がどのような読書指導を受けて本が好きになったか、またなにがきっかけで図書館員になることを決意したのか等のお話を、大変興味深く聞かせていただいた。

桂先生は小学生の時、日本で最初の司書教諭であった増村先生から読書指導を受けた。週に1時間の読書の時間の中で読書の前の手洗い・本のめくり方のマナー・ブックトーク・ストーリーテリング・読書案内などを受けられた。また感想画や感想文を書き、紙芝居を作る過程で図書館の資料を使った学習が自然に身につく、学校図書館・公共図書館の児童サービスの重要性を感じたとのことであった。

その他にも、「少年少女の家」での図書選択・地域や他館や類縁機関との連携・子どもたちに本の楽しさや読書の魅力を知ってもらうための様々なプログラムについて紹介して下さった。

先生のお話をお聞きしながら、今後の私自身の活動の中にぜひとも取り入れ、私も子どもたちの読書の世界を少しでも広げていきたいと改めて思った。そしていつか先生のおっしゃるような、本と子どもの橋渡しをするスペシャリストを目指したい。

(美山町立図書館 島田真希)

平成11年度東海北陸地区公共図書館研究集会

10月21・22日の両日、福井県職員会館において「子どもと読書—将来への布石—」をテーマに平成11年度東海・北陸地区公共図書館研究集会が開催された。

研究内容は1日目は、大坂城南女子短期大学助教授の辰巳義幸先生が「広がるメディアと子どもの読書」と題して講演をされ、引き続き、日頃、文庫活動をされている3人の方より事例発表がなされた。

2日目は、福井市立図書館の坪内啓子氏の司会で、前日の講演、事例発表の質疑応答が行われた。

今回の研究集会では、特に講演にあった「はなしことば」(第一次言語)を修得できなかった子供は「かきことば」(第二次言語)ができず「文字としての文章は読めても内容が把握できない読書」で終わってしまうということが印象に残った。図書館では語りやお話会などによって直接子供達とふれ合っていくことが大切と感じた。

また、事例発表で子供への視線の高さや、接触の度合い、読書や興味への対応など多々学ぶべきことがあった。

今後、図書館員はますます児童の基礎的な発育に対して重要な役割があることを自覚しなければならないと思った。

(春江町立図書館 吉川幸江)

## 平成11年度福井地区大学図書館夏季研修会

- 開催日 平成11年7月30日(金) 10:30~14:30
- 開催場所 福井市美術館(アートラボ福井)
- 参加者 福井地区大学図書館協議会加盟館(福井大学、福井医科大学、福井県立大学、福井工業大学、仁愛女子短期大学、福井工業高等専門学校、敦賀短期大学)の館員21名

### ■研修内容

講演…「岡倉天心と日本近代美術」

講師…松村忠祀氏(福井市美術館長)

福井藩士の次男として生まれ、明治の日本美術界の近代化を推進し、米国ボストン美術館の東洋部顧問、部長の要職を務めた天心の生涯を松村館長が語ってくださった。話が進むにつれ御自身も熱っぽくなり、参加者も思わず引き込まれていた。

見学…福井市美術館蔵庫と『マスコヴィッツ展』

美術館学芸員の方の案内で、普段はまず見るチャンスのない美術館地下の館蔵庫を興味深く見学させていただいた。美術品と図書の違いはあるが、文化の保存と継承という点では通じるものがあるのではないかと。また、特別展の『マスコヴィッツ展』では、かわいい恐竜クンたちが印象に残っている。

(敦賀短期大学 宮内康樹)

3月10日 会計監査

(福井県学校図書館協議会事務局長 渡辺峰一)

## 平成11年度日本図書館協会地方講習会

平成11年11月26日、三重県において平成11年度日本図書館協会地方講習会が開催され、参加者は81名、本県からは1名が参加した。

研修は、図書館サービスの展開において、コンピュータネットワークを中心とした図書館間の相互協力について開かれた。まず千葉県浦安市立中央図書館長の常世田良氏から「図書館ネットワークによる図書館間の相互協力のあり方」として基調講演が行われた。その後、三重県立図書館の中川清裕氏から「三重県図書館情報ネットワークの現状と課題について」、三重県鶴殿村立図書館の岸葉子氏から「和歌山県と隣接する本館の現状と課題について」の事例発表があり、パネルディスカッションが行われた。

図書館間の相互貸借は市民の情報ニーズの増大により、なお一層求められているが、各館の条件整備はまだ充分とはいえない。特に協力車等の物流面に関しては、都道府県によりかなりの格差がある。昨今、総合目録の整備が優先的に行われる傾向があるが、相互貸借は物流が伴わなければ機能しないことが強調された。

本県においても総合目録の構築が予定されており、物流を含めた運用についての十分な検討の必要性を痛感した。

(福井県立図書館 三屋香織)

## 福井県学校図書館協議会この1年

- 5月20日 第1回福井県学校図書館協議会役員会
- 5月28日 全国学校図書館協議会総会
- 4月~6月 第24回福井県小中学生読書感想文コンクール
- 6月1日 第2回福井県学校図書館協議会役員会  
第1回福井県学校図書館協議会理事会
- 7月6日 第3回福井県学校図書館協議会役員会
- 7月~10月 第45回青少年読書感想文全国コンクール福井県予選を実施
- 8月3日 第36回近畿学校図書館研究大会(京都大会)  
~4日 (県内より42名参加)
- 8月10日 第11回全国学校図書館夏季セミナー  
~11日 (県内より6名参加) (奈良市)
- 9月21日 第34回福井県学校図書館研究大会役員打合せ
- 10月22日 第34回福井県学校図書館研究大会  
(402名参加) (坂井大会)
- 1月29日 第4回福井県学校図書館協議会役員会
- 2月3日 全国学校図書館協議会総会
- 2月3日 全国学校図書館協議会事務局長会議  
~4日
- 2月15日 第5回福井県学校図書館協議会役員会  
第2回福井県学校図書館協議会理事会

## ■平成12年度研究集会および研修会(予定)

区分	開催地	期日
全国大会	沖縄県那覇市	平成12年10月25日~27日
整理部門	金沢市	平成12年11月1・2日
奉仕部門	山形市	平成12年10月5・6日
参考事務分科会	宮崎市	平成12年10月12・13日
児童図書館分科会	長野市	平成12年11月8・9日
東海北陸地区公共図書館司書等専門研修	三重県津市	平成12年9月26日~30日
東海北陸地区公共図書館研究集会	三重県津市	平成12年10月18・19日
日本図書館協会地方講習会	富山市	期日未定